

令和4年度

スポーツ庁委託事業
女性アスリートの育成・支援プロジェクト

女性エリートコーチ育成プログラム

公募要項

令和4年5月

日本体育大学

はじめに

本公募要項は、令和4年度スポーツ庁委託事業女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性エリートコーチ育成プログラム」事業にて展開するオリンピック等スポーツにおける女性エリートコーチ育成を目指す「エリートコーチ育成プログラム」、およびパラリンピック等パラスポーツにおける女性エリートコーチ育成を目指す「パラスポーツエリートコーチ育成プログラム」の公募内容や応募に必要な手続き等を記載したものであり、以下の5項により構成される。

- I. 公募内容について
- II. 公募対象となるプログラム内容
- III. 応募について
- IV. 選考方法等
- V. 公募スケジュール等

I. 公募内容について

1. 趣旨

スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第9条に基づく第2期スポーツ基本計画(平成29年3月24日 文部科学省)においては、「国は、女性特有の課題に着目した調査研究や医・科学サポート等の支援プログラム、戦略的な強化プログラムやエリートコーチの育成プログラム等を実施し、得られた知見を中央競技団体等に展開することにより、女性トップアスリートの競技力向上を支援する」ことが謳われ、女性アスリートに対する更なる支援の充実を図ることが求められている。また、女性アスリートの強化・育成を充実させる視点からも、女性特有の視点や観点をもった女性コーチの普及が重要な側面を担うこととなる。

しかし、現状として女性コーチの普及率が十分であるとは言えない。内閣府男女共同参画局が平成30年(2018年)に公開した情報によると、北京オリンピック・パラリンピック競技大会(2008年)では女性コーチの割合がそれぞれ11.0%、21.9%であったが、その後もロンドン大会(2012)では11.6%、17.2%、リオデジャネイロ大会(2016)では12.3%、20.0%と女性エリートコーチが恒常的に少ない状態であることが明らかとなっている。公益財団法人日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格に目を向けてみると、エントリーレベルであるコーチ1の女性の割合は22.4%、コーチ2が22.2%、コーチ3が18.4%、最も高いレベルの資格であるコーチ4については8.0%であり、コーチ資格のレベルが高くなるにつれて女性の割合が低くなる傾向にある。

アスリート、特に女性アスリートが質の高いコーチングを受けられるような選択肢を増やすとともに、女性アスリートがエリートコーチというキャリアパスを描けるようになるためにも、実際にロールモデルとなる女性エリートコーチを輩出していく必要がある。

2. 目的

本事業の目的は、各中央競技団体や関係する団体において今後、ナショナルチームクラスのコーチングスタッフとして活躍が期待される女性コーチ(将来コーチを目指す現役アスリートを含む)を対象に、ハイパフォーマンス領域で強みとなるコーチングスキル向上のプログラムを提供し、戦略的に女性エリートコーチ育成に取り組むことで、将来的な女性トップアスリートの競技力向上に寄与することである。

3. 女性エリートコーチの定義

本事業では、女性エリートコーチを女性アスリートや女性コーチにとってのロールモデルとなり得る、高い競技レベルで指導をおこなう女性コーチと定義する。

4. プログラムの実施

本事業は、「女性アスリートの育成・支援プロジェクト委託要項」並びに「スポーツ庁委託事業事務処理要項」に基づき実施する。

II. 公募対象となるプログラム内容

令和4年度スポーツ庁委託事業女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性エリートコーチ育成プログラム」事業では、オリンピック等スポーツにおける女性エリートコーチ育成を目指す「エリートコーチ育成プログラム」、およびパラリンピック等パラスポーツにおける女性エリートコーチ育成を目指す「パラスポーツエリートコーチ育成プログラム」を同時に展開する。コーチングは、対象者の文脈によって主に活用する専門的知識が変わる。その一方で対他者の知識や対自己の知識などの基礎的な知識やコーチングスキルはコーチング対象者の文脈に関係なく、共通なものである。よって、本事業へ参加する全てのコーチたちは、原則的に同じプログラムを受講する。それぞれのプログラム内容は下記の「1. エリートコーチ育成プログラム」、「2. パラスポーツエリートコーチ育成プログラム」に記す通りである。

1. エリートコーチ育成プログラム

オリンピックをはじめとしたスポーツにおけるナショナルチームクラスのコーチングスタッフとして、所属する組織でリーダーシップを発揮し、当該競技の国際的競技力向上に貢献できるだけでなく、競技横断的に女性アスリートや女性コーチのロールモデルとなり得る人材の育成を目指す。

本プログラム内容の方針等は別紙1「エリートコーチ育成プログラムの3つの方針」にて記載する。

(1) プログラム内容およびスケジュール

本プログラムでは、エリートコーチとして歩み始める土台となる資質能力を習得させるため、下記の8項目からプログラムを編成し、2カ年に渡って実施する。

- ① オン・ザ・ジョブ・トレーニング
- ② 研修会
- ③ サテライト研修会
- ④ キャリアパス研修会
- ⑤ メンタリング
- ⑥ 日本体育大学女性スポーツフォーラム
- ⑦ 実践コミュニティの形成と発展
- ⑧ ハイパフォーマンスプロジェクトの実施

令和4年度および令和5年度のプログラムスケジュール案は下記の通りである。なお、各プログラム編成の方針に関する詳細は別紙1「エリートコーチ育成プログラムの3つの方針」にて記載する。

※ 令和4年度の日程は暫定的なものであり、状況に応じて変更する場合がある。また、令和5年度に関しては事業の予算規模により実施する内容を変更する可能性がある。

プログラムスケジュール案

令和4年度エリートコーチ育成プログラムプログラムスケジュール

※女性スポーツフォーラム2月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修会						対面 ☆ 2-4			オンライン ☆ 5-9		対面 ☆ 24-26	
サテライト研修							☆			☆		
キャリアパス研修							☆			☆		
OJT												
実践コミュニティの形成と発展												
ハイパフォーマンスプロジェクトの実施												
メンタリング												

令和5年度エリートコーチ育成プログラムプログラムスケジュール

※女性スポーツフォーラム2月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修会		オンライン ☆ 22-26				対面 ☆ 1-3					対面 ☆ 16-18	
サテライト研修	☆					☆						
キャリアパス研修				☆					☆			
OJT												
実践コミュニティの形成と発展												
ハイパフォーマンスプロジェクトの実施												提出 ☆
メンタリング												

2. パラスポーツエリートコーチ育成プログラム

パラリンピックをはじめとしたパラスポーツにおけるナショナルチームクラスのコーチングスタッフとして、所属する組織でリーダーシップを発揮し、当該競技の国際的競技力向上に貢献できるだけでなく、競技横断的に女性アスリートや女性コーチのロールモデルとなり得る人材の育成を目指す。

本プログラム内容の方針等は別紙2「パラスポーツエリートコーチ育成プログラムの3つの方針」にて記載する。

(1) プログラム内容およびスケジュール

本プログラムでは、パラスポーツエリートコーチとして歩み始める土台となる資質能力を習得させるため、下記の10項目からプログラムを編成し、2カ年に渡って実施する。

- ① オン・ザ・ジョブ・トレーニング
- ② 研修会
- ③ パラスポーツ医・科学研修会
- ④ パラスポーツクラス分け研修会
- ⑤ サテライト研修会
- ⑥ キャリアパス研修会
- ⑦ メンタリング
- ⑧ 日本体育大学女性スポーツフォーラム
- ⑨ 実践コミュニティの形成と発展
- ⑩ ハイパフォーマンスプロジェクトの実施

令和4年度および令和5年度のプログラムスケジュール案は下記の通りである。なお、各プログラム編成の方針に関する詳細は別紙2「パラスポーツエリートコーチ育成プログラムの3つの方針」にて記載する。

※ 令和4年度の日程は暫定的なものであり、状況に応じて変更する場合がある。また、令和5年度に関しては事業の予算規模により実施する内容を変更する可能性がある。

ムより推薦が得られることを条件とし、推薦する団体を「推薦母体」という。

主な対象者として、以下の条件に見合う者を募る。

- 満20歳以上の女性
- スポーツ医・科学をはじめとする科学的根拠に基づく指導実践を行なって（行おうとして）いる（専門的知識）。
- 対人関係において、常に他者への理解を深める努力をし、良好な人間関係を築く姿勢を有している（對他者の知識）。
- コーチとして、自身の課題を客観的に分析、発見するとともに、創意工夫しながら、自己改善に取り組むことができる（対自己の知識）。
- 原則として国際大会レベルでの競技経験や指導実績を有すること。
- 申請者本人が女性エリートコーチとなる強い意志を有し、本プログラムへの参加を強く望んでいること。
- コーチング実践の場が確保でき、推薦母体からオン・ジョブ・トレーニング（以下OJT）に関する協力が得られること。なお、推薦母体は当該競技の中央競技団体であることが望ましい。
- 原則として「エリートコーチ育成プログラム」または「パラスポーツエリートコーチ育成プログラム」にて実施するプログラム内容に3分の2以上参加できること。

4. プログラム参加に関わる各種支援内容

※「エリートコーチ育成プログラム」、「パラスポーツエリートコーチ育成プログラム」共通

「エリートコーチ育成プログラム」および「パラスポーツエリートコーチ育成プログラム」の受講者は、プログラム参加に必要な経済的支援を受けることができる。支援の対象内容は下記に示した通りである。記載以外の内容支援については個別に協議する。

(1) プログラム参加に係る旅費・謝金等

各種プログラム参加に係る費用として、以下の内容を支援する。

経済的支援対象プログラム	主な支援内容
各種研修会等(対面/オンライン) ・本事業主催の研修会 ・パラスポーツ医・科学研修会 ・パラスポーツクラス分け研修会 ・日本体育大学女性スポーツフォーラム	対面 ・ 自宅から会場までの交通費 ・ 宿泊費 対面・オンライン共通 ・ 研修会受講日当 ・ 研修会参加時の託児費用等
メンタリング	・ キャリアメンター、コーチングメンターへの謝金（4回分/年度） ・ コーチングメンターとのメンタリングに係る交通費 ・ コーチングメンターとのメンタリングに係る宿泊費

- 支給する交通費および宿泊費は日本体育大学の規程に基づき算定する。
- 日当については、日本体育大学の規程に基づき支払う。
 ※移動時間を含めた所要時間4時間未満のプログラム参加に対しては、日当を支給しない。
- オンラインによるプログラム参加に係る通信費、通話費は自己負担とする。
- 各種プログラム参加期間中に発生する食費は自己負担とする。

(2) 年間活動費

各プログラム受講者には「(1)プログラム参加に係る旅費・謝金等」記載内容に加え、OJTをはじめとした自身のスキルアップに向けた活動に使用することができる年間活動費が配分され、下表の内容に基づいて支援を受けることができる。

経済的支援対象プログラム	主な支援内容
OJT	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の遠征、合宿、大会への帯同に係る費用（旅費・宿泊費・日当等） ・ 国外での活動に係る海外旅行保険料 ・ 本プログラム受講生のOJT現場観察に係る費用（旅費・宿泊費・日当等）
メンタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンタリング追加実施（4回目以降）に係るコーチング・キャリアメンターへの謝金 ・ コーチングメンターとのメンタリングに係る交通費 ・ コーチングメンターとのメンタリングに係る宿泊費
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本プログラム活動のため、新たに加入するスポーツ保険や傷害保険等の費用 ・ 国内競技団体、国際競技連盟及びそれに準ずる国際機関が定める当該分野における競技団体が認めた資格取得に係る費用 ・ 当該競技に関連する知識習得及び必要性が認められた語学習得に係る費用

- 個別に割り当てられる年間活動費の金額は、受講者決定後に確定する。
- 年間活動費の執行は、原則として令和4年度は2022年9月～2023年2月まで、令和5年度は2023年4月～2024年2月の期間において執行可能な活動に対して支給する。
- 参加する受講者の人数や事業の予算規模の変更により金額は変動する可能性がある。
- 活動費を使用する際は、事前に本事業への申請をし、承認を得ることとする。
- OJTとして実施される合宿や遠征帯同について、本事業から経費の支援を行うが、支援内容についてはそれぞれのニーズを調査し、必須の項目に対してのみ支援を行う。受講者への学習経験の提供が主たる目的ではなく、推薦母体等の経費削減が目的と判断される場合には本事業からの支援は行わない。
※支援対象となるOJT活動例は別紙1または2を参照。
- 支給する旅費および宿泊費は日本体育大学の規程に基づき算定する。
- 各種プログラム参加期間中に発生する食費は自己負担とする。

(3) 活動費の管理等

各プログラム参加上発生する活動費の支給や管理等は日本体育大学の規程に準じる。

(4) 指導者資格取得の支援

受講者は本プログラムを受講することで、日本スポーツ協会公認コーチ3共通科目課程を免除とできるよう申請中である。

5. 実施期間 ※「エリートコーチ育成プログラム」、「パラスポーツエリートコーチ育成プログラム」共通

令和4年7月26日実施予定の「プログラム受講者および推薦母体説明会」から令和6年3月31日までの2ヶ年を予定する。ただし、令和5年度の参加については令和4年度の実施内容を選考し、予算の状況等を踏まえ、継続することが適当であると認めた場合、2年目の参加を許可するものとする。

6. 採択人数 ※「エリートコーチ育成プログラム」、「パラスポーツエリートコーチ育成プログラム」共通

採択は「エリートコーチ育成プログラム」8名、「パラスポーツエリートコーチ育成プログラム」8名、合計16名を予定している。なお、同一の競技種目で複数名を採択するかについては応募状況等から総合的に判断する。

III. 応募について

応募に関連した各種要件は「エリートコーチ育成プログラム」、「パラスポーツエリートコーチ育成プログラム」ともに共通とする。

1. 応募に必要な要件等

- (公財)日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本パラスポーツ協会のいずれかに加盟する競技団体、およびその競技種目のプロ/実業団チーム、大学チーム、クラブチームに所属する者を対象とする。
- 前述の中央競技団体もしくは所属チームより応募に対する推薦が得られることを条件とし、推薦する団体を「推薦母体」とする。なお、推薦母体は当該競技の中央競技団体であることが望ましい。
- 全ての申請者は応募にあたり、推薦母体と推薦母体以外からの照会可能な推薦者各1名(合計2名)を立てる必要がある。
- 応募に際して、推薦母体は組織内にプログラム担当者を置き、申請が採択された場合には、プログラムに参加するのに必要な業務(例:OJTの場の提供と支援、大会帯同のアレンジ、本事業に関連する会議への出席、受講者の評価等)を行うものとする。
- 推薦母体が中央競技団体でない場合には、もう1名の推薦者は中央競技団体の強化に携わる者が好ましい。
- p.6-7「II. 公募対象となるプログラム内容、3. 対象者」記載の応募条件に該当する者を対象とする。

2. 応募書類および必要事項

(1) 様式1 推薦母体必要事項:1通 (推薦母体の推薦者が作成すること)

① 推薦母体に関する基本事項および推薦理由等

- 推薦母体基本事項
- 申請者推薦理由

② 推薦母体の申請者支援体制

(2) 様式2 申請者本人必要事項:1通 (申請者本人が作成すること)

① 申請者本人に関する基本的事項

② コーチングに対する考え方、現在の取り組みや実践経験について

- 科学的根拠に基づく指導実践(専門的知識)
- 良好な人間関係を築くコミュニケーション実践(対他者の知識)
- コーチとしての自己改善に関する取り組み(対自己の知識)

③ 申請者が本プログラムに参加する目的および目標、コミットメント表明

- プログラム参加目的
- あなたの成長目標
- コミットメント表明

④ 申請者の学習計画

- 学習計画
- 必要な人的支援

(3) 様式3 推薦状:1通

(推薦母体以外の推薦者が作成すること。推薦母体推薦者の作成は不要とする)

- ① 申請者推薦理由
- ② 推薦者必要事項

- (4) 様式4 本事業参加にあたってのインテグリティーに関する誓約書：1通
(申請者本人が作成すること)
- (5) 申請者本人の競技実績および指導実績を証明する書類：必要数
(申請者本人が作成すること)

3. 応募方法

(1) 応募書類の提出場所ならびに問い合わせ先

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

日本体育大学 女性エリートコーチ育成プログラム事業

TEL：03-5706-0962

FAX：03-5706-0961

E-mail：wec@nittai.ac.jp

(2) 応募書類の提出方法

① 提出方法

各団体から1名の応募を行う場合

- 応募書類は、申請者本人が一括して応募締切までに電子データ形式として上記E-mailアドレス宛にE-mailにて提出すること。
- 応募書類を提出する際、送信メールの題名は「女性エリートコーチ育成プログラム応募」推薦母体名：申請者本人名で提出すること。
例) 「女性エリートコーチ育成プログラム応募」〇〇協会：日体花子

同一団体から複数名の応募を行う場合

- 団体推薦代表者が各申請者の応募書類を取りまとめ、応募締切までに電子データ形式として上記E-mailアドレス宛にE-mailにて提出すること。
- 応募書類を提出する際、送信メールの題名は「女性エリートコーチ育成プログラム応募」推薦母体名：推薦者名で提出すること。
例) 「女性エリートコーチ育成プログラム応募」〇〇協会：日体太郎

② 留意点等

- 応募書類は日本語で作成すること。
- 応募書類は電子データPDFファイル形式にて提出すること。
- 事務局が応募書類提出確認後、送信者に対してメールにて受信通知をする。
- メール送信上の事故（未到達）については、当方は一切の責任を負わない。
- 応募書類等の作成および提出費用については、選定結果にかかわらず団体および申請者本人の負担とする。

(3) 応募書類の作成方法

- 応募書類は下記のリンクよりダウンロードしてください。



<https://www.nssu-wec.com/kobo>

- 「推薦母体必要事項」および「申請者本人必要事項」について、文字数や行数、ページ数を変更することは可能であるが、レイアウトの変更、特に列幅や記載項目の順番の変更、記載項目の枠は削除しないこと。

- 各記載項目の文字数制限やその他記入方法は各応募書類作成要項にて記載する。
- 「申請者本人の競技実績および指導実績を証明する書類」について、申請者本人必要事項にて記載する競技実績および指導実績内容を証明する書類の写し、もしくはリザルトをPDFファイル形式に変換し、応募書類に合わせて提出すること。なお、該当する箇所はマーカー等で強調させること。

4. 誓約書の提出

- (1) 本事業の参加を希望する者は、インテグリティーに関する誓約書を提出しなければならない。
- (2) 前項の誓約書を提出せず、または虚偽の誓約をし、もしくは誓約書に反することとなった場合は、当該者の事業への参加を無効とするものとする。
- (3) 提出方法
誓約書を自書にて作成し、捺印の上、PDFファイル形式に変換し、応募書類と合わせて提出すること。

5. 応募締切

応募締切：令和4年6月20日(月)正午着(厳守)

6. 公募説明会

公募説明会を令和4年5月25日(水)、および5月31日(火)の計2回オンライン(ZOOM)にて実施する。参加を希望する者は、事前に参加を希望する回の登録リンクより参加登録をすること。登録されたメールアドレスにZOOMから参加用のリンク(URL)が自動で送信されます。また、各回の公募説明会内容は録画し、当日参加できなかった者に対しても閲覧可能にする。閲覧を希望する者は本事業事務局にメールにて連絡すること(宛先:wec@nittai.ac.jp)。説明会終了後、依頼者に対してメールにてリンク(URL)を通知する。なお、各回の公募説明会は基本的に同様の内容にて実施する。

(1) 第1回

日時：令和4年5月25日(水)13:00~14:00

方法：オンライン (Zoom)

登録リンク

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZUqde-ppzgtGdD3w2TCcKuffK9yZ9Ug98R6>



(2) 第2回

日時：令和4年5月31日(火)13:00~14:00

方法：オンライン (Zoom)

登録リンク

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZcodeivrjMth9SE59i8eBBRIAMRzu30gk1A>



7. 質疑応答

公募に対する質問がある場合には、E-mail (wec@nittai.ac.jp) にて問い合わせること。質問を受け付ける期限は令和4年6月15日(水)17時までとする。

IV. 選考方法等

1. 選考方法

本事業では、選考の公平性・透明性を保つため、本事業スタッフおよび外部選考員によって構成される選考委員会において、提出された申請書類等により選考を実施する。

選考は以下の手順によって実施する。

- (1) 書類選考
- (2) ヒアリング
- (3) 選考結果の通知

2. 書類選考および評価基準

提出された応募書類をもとに、次の評価基準による5段階評価等を行い、選考委員会の各委員がそれぞれ評価した採点結果の合計を平均したものを申請者の持ち点とする。

- ① 2年間で実現可能な目的や目標が設定され、申請者本人および推薦母体の必要なコミットメントが得られるかどうか
- ② 本プログラムを受講するにあたって、コーチングに関する事前知識を十分に有しているかどうか
 - スポーツ医・科学をはじめとする科学的根拠に基づく指導実践を行なって（行おうとして）いる。（専門的知識）
 - 対人関係において、常に他者への理解を深める努力をし、良好な人間関係を築く姿勢を有している（対他者の知識）
 - コーチとして、自身の課題を客観的に分析、発見するとともに、創意工夫しながら、自己改善に取り組むことができる（対自己の知識）
- ③ 目的と目標に合致したOJTが計画され、推薦母体からOJTの場を確保するための協力が確実に得られるかどうか
- ④ インテグリティ、成長意欲、成長に対する姿勢の各側面で、次に続く可能性のある女性コーチのロールモデルとなることが期待できるか

【評価基準】

評価項目	点数	評価基準				
		劣っている	やや劣っている	適切である	優れている	大変優れている
①	5	1	2	3	4	5
②	5	1	2	3	4	5
③	5	1	2	3	4	5
④	5	1	2	3	4	5

3. ヒアリング

書類選考を通過した申請者およびその推薦母体に対して令和4年7月上旬～中旬の期間でオンラインによるヒアリングを実施する。ヒアリング日程の詳細は申請者および推薦母体に直接通知し、実施日程を調整することとする。ヒアリング内容は応募書類の記載内容に基づき実施するため、原則として推薦母体の推薦者および申請者本人の両名が参加すること。

4. 採択等

外部選考員を交えた本事業選考委員会での選考、評価に基づき、申請者とその推薦母体等に決定通知を送付する。採択にあたっては、エリートコーチ育成という本事業の趣旨を鑑み、各中央競技団体が各種ナショナルチームのコーチ候補者として推薦する者を優先することとする。採択後プログラムの内容、実施期間、必要な活動費、申請者本人に対する推薦母体の支援体制等に関し、条件を付すことがある。また、採択後、各受講者と個別面談を実施し（7月上旬～中旬予定）、令和4年度内の学習計画や必要な活動費などについて確認および調整を行う。日程の詳細は各受講者に直接通知し、実施日程を調整することとする。

5. 選考結果の通知

令和4年7月20日(水)までに全ての申請者、推薦母体の推薦者に対して選考結果を通知する。なお、選考の途中経過等に関する問い合わせは一切受け付けない。

V. 公募スケジュール等

1. 公募開始：令和4年5月19日(木)
2. 第1回公募説明会：令和4年5月25日(水)13:00～14:00
3. 第2回公募説明会：令和4年5月31日(火)13:00～14:00
4. 公募締切：令和4年6月20日(月)正午
5. 書類選考：令和4年6月下旬～7月上旬
6. ヒアリング：令和4年7月上旬～7月中旬
7. 選考結果の通知：令和4年7月20日(水)まで
8. プログラム受講者および推薦母体説明会：令和4年7月26日(火)